

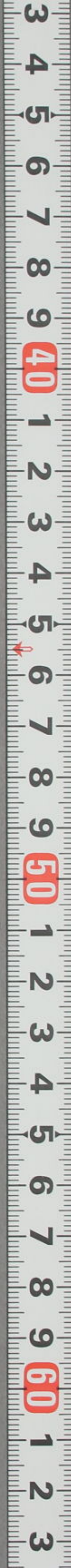


廣白石叢書

御系譜

不
藏書印

14
588
19



明僧 4
冊 588
卷 19



御系譜

清和天皇

貞純親王

經基王

二男 嫡男

第六皇子桃園親王

六孫王

右馬頭滿仲

陸奥守滿政

下申

始源姓了賜

御當家御正統

八島村岡祖外子孫多



三男 武藏権掾満季
平井山田小祖以外子孫於多
四男 下野守満状
依田諏訪小祖 同

右馬从満仲
多田新奈意

嫡男 攝津守光光
多田能勢福島浅地土岐
比田小祖以外子孫於多

二男 對馬守頼規
廣流守也大森孝為
小祖以外子孫於多

三男 河内守頼信
御當家御正統

河内守頼信

嫡男 伊豫守頼義
御當家御正統

二男 村上肥後与頼清
子孫長不詳

三男 井上三幸 頼季
同

四男 河内冠者頼任
同

五男 常盤五郎 頼政
同

伊豫守頼義
鎮守府將軍

嫡男 八幡太郎義家
御當家御正統

二男 加茂次郎義綱
石橋小祖



三男 新羅三郎義光

佐竹山本柏木綿渡逸見武田
小笠原南部少祖日介子孫多

前陸奥守義家 陸奥府將軍

三男 足利加賀介義國

御當家御正統

四男 河内守義忠

稻沢飯富少祖

五男 六條判官為義

實孫也右大將義
并木曾安仲少祖

六男 陸奥五郎義時

石川少祖

七男 森冠者義隆

森若月少祖

足利加賀介義國

嫡男 新田太郎義重

御當家御正統

二男 足利藏人義康

足利本末細川荒州島山田中桃井吉良
今川一色少祖足利尊氏少祖也

新田大炊助義重

上世國寺尾の味少位す之を新田家の祖とす
東照宮天下とあり一は其胡家より陸奥府將軍
と稱す路少義重山太光院少祖善提寺なり

嫡男 新田左衛門義俊

大形田里見大造少祖
少祖此外子孫多

二男 新田大炊助義兼

少祖田大銀少祖
左中將少祖足利少祖也

三男 山名三郎義範 山名の祖

四男 得川四郎義季 御富家御正統

五男 顔戸五郎経義 顔戸の祖

得川四郎義季 得川、上野国新田の庄の五名次

世良田三河守頼氏 世良田、上野国新田庄の五名次

嫡男 世良田壱江百氏 子孫あり

二男 世良田二郎教氏 御富家御正統

三男 江田三郎満氏 子孫あり

世良田二郎教氏

世良田孫二郎家時

得川下野守満義

世良田大炊正改義

字津峯親王の御孫とありて良王親王とすの以外祖母、永享七年
土月朔日、信濃守かゝりし中、亦母て我死かす也、改義公、子

以在時新田九中、將義貞、親長と名、世良田
の御孫、大炊正改義とす、中、信濃守也

世良田二郎又得川右京亮とあり、○この
改義公、後醍醐天皇の皇子、宗良親王の御子

其人あり世良田方往九政親と申し後小良王親王の御供あり三河國小
うり酒井の御供あり又松平の御供あり松平爲人及と申す
也子御いりりの御供あり一河系國の御供あり世良田方往九政親の
御供あり此の御供あり

は政我兄才二人也し此兄は政満永享の御供あり此兄才ハ
我秋の御供あり永享三年八月十日任濃江大河系と

親王の御供あり此の御供あり

右何れ御系圖 云々事机器 一子也

得川修理亮親孝

以時定利承天下の御供あり此兄才ハ
上御供あり出川友成の御供あり大塔主の御供
あり此の御供あり

松平太郎左衛門親氏

此兄才ハ以時定利承天下の御供あり此兄才ハ
此兄才ハ以時定利承天下の御供あり

此兄才ハ以時定利承天下の御供あり此兄才ハ
此兄才ハ以時定利承天下の御供あり

此兄才ハ以時定利承天下の御供あり此兄才ハ
此兄才ハ以時定利承天下の御供あり

此兄才ハ以時定利承天下の御供あり此兄才ハ
此兄才ハ以時定利承天下の御供あり

松平太郎左衛門泰親

以時小三河國の御供あり此兄才ハ
此兄才ハ以時定利承天下の御供あり

十一代と申す

松平和泉入道信光

和泉守小伝一多の十六代入道と云はれ信光と云

和泉守子四十八人子一海守也一和泉親族海の外にりくありせ

られは四時より次第小の家繁昌一り是所尚家中奥の四人

松平修理免親長

岩津友と申す

松平和泉守宗家

三洲竹の谷小伝すなる竹谷松平十六代の始
松平云蕃元宗清くは院少宗流小ハ子孫及に院

松平九京免親忠 御當家御三統

安穩寺住持昌龍

松平佐渡守貞嗣

三洲方ノ系住す加方系松平と云尚松平佐伊
十代の祖 嚴有院様所例九松平氏記少補り八代

松平佐渡守光重

三洲大系住す加方系松平と云水戸の
松平志元と十代の祖

松平八幡島光英

松平外記元芳

三洲池之住す加方系松平と云
尚松平池伊保り九代の祖

松平左殿助忠景

尚之友松平十代の祖
之申双り九代の祖

松平傳中右親則

三物長次郎傳中加小長次郎平と云上條家分十代
孫松平孫三右衛門三右衛門長亮以流の也世次不分明

松平次郎右衛門元親

三川能元傳中加能元親松平と云為松平日向
八代子松平傳中加能元親六代子孫也

松平英代右衛門長

松平修理亮親正

これ以傳中と名同し不審なり
一〇〇〇の物と地つきあり一〇〇也

長沢孫三右衛門信重

松平九郎亮親忠 大藏人

嫡男 松平加賀守宗元

三物長次郎傳中加能元親松平と云為和泉守
代三川能元傳中加能元親松平對三川能元

二男 岡崎二右衛門長親

神南宗元正統

三男 松平玄蕃元親房

四男 知恩院住持超春

五男 松平刑部少輔親光

子孫ありと云傳中と云
子孫ありと云傳中と云

六男 安祥元親長

子孫ありと云傳中と云

七男 松平右京亮弘忠

子孫ありとてしつりしり

八男 松平源三郎宗清

三州所領ありしり
其母の **子** あり

松平出雲守長親 又藏人

嫡男 松平藏人信忠

所領本所正統

二男 松平内膳正信定

三州所領ありしり
苗を以て九代の祀

三男 松平保基左衛門春

右京亮の子息を而後し
其母の **子** あり

四男 松平春信市利長

三州所領ありしり
苗を以て六代の祀

五男 松平右衛門親盛

三州所領ありしり
苗を以て二市ありしり

松平藏人信忠

嫡男 安祥左三郎清康

所領本所正統

二男 松平内藏元信季

九代所領ありしり
四代の祀

三男 松平十市右衛門康孝

五世所領ありしり
其母の **子** あり

安祥二帝三帝清康 安祥城小所住居

岡崎三帝三帝清康 御苗家所正統

御女子 松平源三帝 源三帝 初泉三八代の祀

岡崎贈大納言廣忠卿

岡崎三帝版中法名道幹 東照言の時時頼家より御孫有

東照太神宮

御女子 荒川甲斐守義廣室

以後岡井伊勢守定次へて酒井倫将 忠利へ 右利八定印父

御女子 松平 上野从康方室

此死ハ上徳分頼川家父へ 康方死云 の好 酒井 友成 右利 右次 の好

東照太神宮

岡崎三帝清康主

龜姫君 奥平次郎信昌室

督姫君 沼田参議輝政卿室 好印 川條左衛門左衛門氏正室

結城中納言秀康卿

越前家之祖

台徳院殿大相國家

尾張中將忠吉卿

御名 不知 姫君淺水伴馬長晟

始武田万代丸 蒲生飛騨秀成室

松平七郎信重主

始武田万代丸 以病中加冠成任百のり

城後少將忠輝朝臣

上徳分統の事

平岩松千代丸

平岩松千代丸 松千代丸

得川仙千代

得川仙千代 得川仙千代

御名 不知 姫君

御名 不知 姫君

尾張大納言義生卿

尾張大納言義生卿

紀伊大納言於宣卿

紀伊大納言於宣卿

水戸中納言頼房卿

水戸中納言頼房卿

市姫君

伊達陸奥守忠家内御前

御表女

至田筑前守長政室

実ハ保科清正正室の娘正室
久松依濃と娘其父同母の姉也

同

有馬玄蕃以豊氏室

実ハ松平清七御前娘源七郎友ハ
上祀外麻季の男是ハ正室也

同

刑部少輔正之室

同

松平伯耆守忠一室

実ハ松平因幡守保元娘康元
其父同母の姉也

同

松平土佐守忠義室

実ハ松平陸奥守定房の娘正室
其父同母の姉也

同

松平越後守忠俊室

実ハ平多氏侯と忠俊、娘
其父同母の姉也

同

松平陸奥守忠家室
其父同母の姉也

台徳院大相國家

千姫君

天村内及内奉

初石右衛門忠政公の方
其父同母の姉也

初姫君

系極差致事

一外也

初姫君

加賀
其父同母の姉也

長丸

市子世

勝姫君

御前宰相右大臣

一伯及子

大猷院贈大相國家

駿河大納言忠長卿

東福門院

會津中将正之朝臣

保科肥後守夜子
正光
東照宮の甥分

御養女

細川城中右利室

室小室不依濃子娘依濃子
正而反以子孫之苗城中右利父

月

相平武勳右利院

美ハ神名武勳を補康政娘
苗伊子と祖父

月

加藤肥後守忠康室

美ハ蒲生忠康守友の娘
日ハ大御所の外孫

大猷院贈大相國家

鶴姫君

大姫君
加賀新八郎
松平筑前守光亨室

美ハ水戸守才助言
以娘

千代姫君 尾張大納言光義御室

右大臣家

甲府参議家

龜松丸

御早世

内大臣家

鶴松丸

御早世

御養女

浅野

松平紀伊守光茂室

貞小松中納言娘

嚴有院贈大相國家

内大臣家

萬々世

十代作君 尾衣大相主美卿室

種大尾也

新大尾家

蕭百新觀大能國家

松九

平也

野大尾家

所家其 林平也 尾衣大相主美卿室 平也 十代作君

